

What's New for Avid® Media Composer® v2022.12

Media Composer v2022.12 の新機能

以下の機能が追加されました。

新機能

- Pro Tools セッションのエクスポート
- Avid MBOX Studio サポート
- UNC ドライブのマウント
- 前の/次の選択したクリップへ移動
- マーカーウインドウに作成日コラムを追加
- ビンマップ設定
- ビンコンテナ・サイドバーでビンとフォルダーをラッソ選択
- どのコラムからでもビンのアイテムをドラッグ
- ファイルのマルチチャンネルオーディオを無視

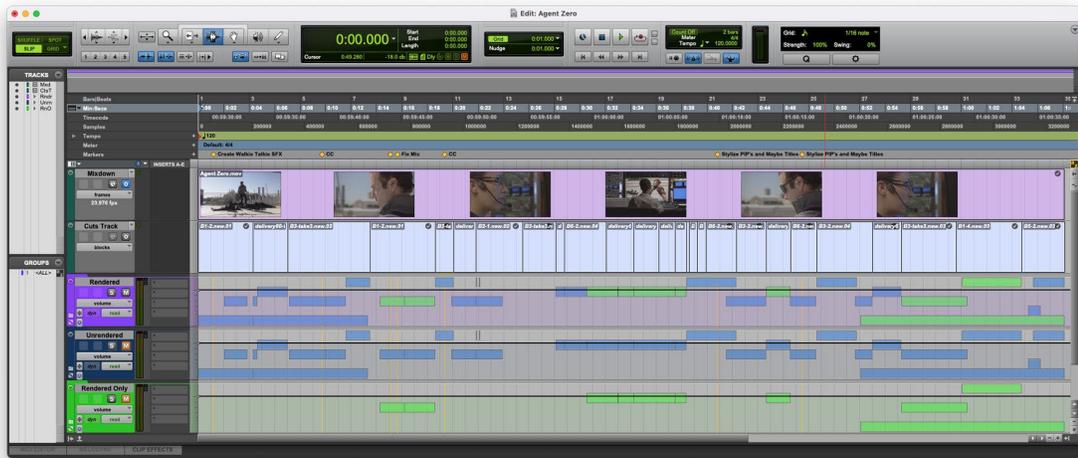
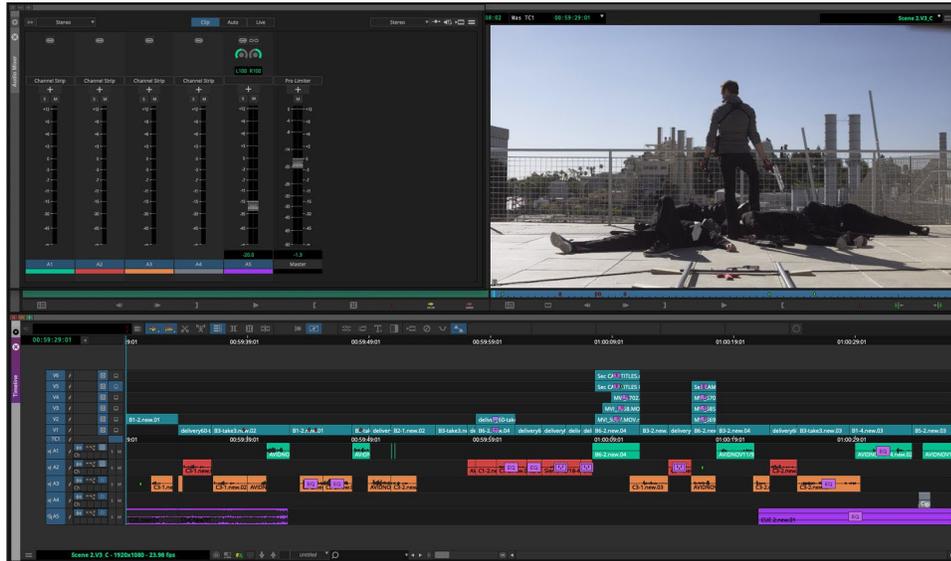
Pro Tools セッションのエクスポート

オーディオに対して追加の編集やミキシング、映像素材の提供等が必要なとき、Pro Tools セッション (.ptx) でエクスポートすることで、より簡単にプロジェクトを Pro Tools に移動することができるようになりました。AAF でエクスポートするより多くのデータを互換することができます。



Pro Tools へのエクスポート機能には *Media Composer | Ultimate* か *Media Composer | Enterprise* のライセンスが必要です。

エクスポートしたセッションを Pro Tool で開くと、新しいアイテムが作成されます。これらの新しいトラックとフォルダーにより、これまで手で行っていたいくつかの作業が自動化され、新しいセッションのセットアップ時間が短縮されます。

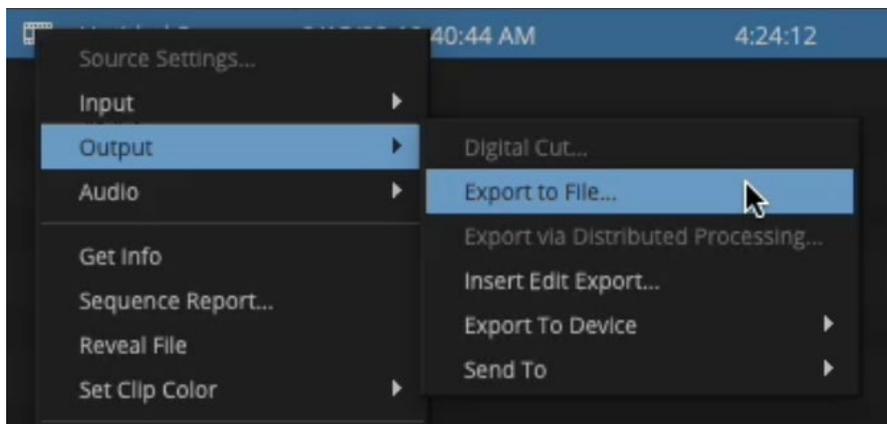


Pro Tools セッションファイルのエキスポート

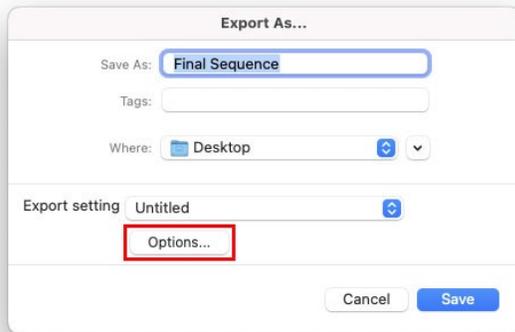
Pro Tools セッションファイルをエキスポートするには、以下の手順に従ってください。

Pro Tools セッションファイルをエキスポートするには：

1. ビンの中でシーケンスを右クリックし、[出力]>[ファイルにエキスポート...]を選択します。

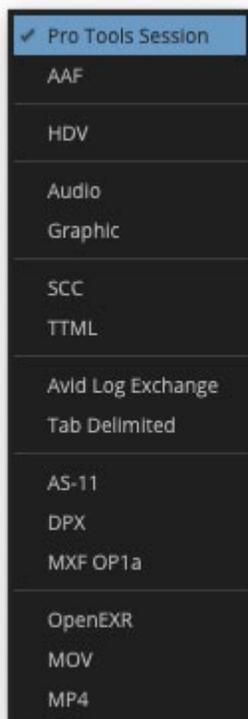


2. [エクスポート...] ダイアログで [Options...] をクリックします。



[エクスポート設定] ウィンドウが開きます。

3. [エクスポート設定] プルダウンメニューから [Pro Tools Session] を選択します。



[Export to Pro Tools] ウィンドウが開きます。

4. [Export Method] でビデオ/オーディオファイルの出力方法（上から順に Video : [Link to (Don't Export) Media]、[Copy All Media]、[Consolidate Media]、[Video Mixdown]、Audio : [Link to (Don't Export) Media]、[Copy All Media]、[Consolidate Media]）を選択し、必要に応じてその他の項目を設定したら [Save] をクリックします。
5. エクスポートされる Pro Tools セッションに名前をつけ、ファイルを保存する場所に移動し、[保存] をクリックします。

[Select Sequence] ダイアログボックスが開きます。
6. エクスポート設定時のオーディオオプションで [Ask to Exclude Audio Media From a

Previous Sequence (以前に出力したシーケンスに含まれていたオーディオを除外する)] をチェックしていた場合は、プルダウンメニューから対応するシーケンスを選択します。それ以外の場合は [なし] を選択して [OK] をクリックします。

エクスポートが開始されます。



エクスポートされたセッションファイルは、.ptx が読み込み可能なすべてのバージョンの Pro Tools で開くことができますが、マーカーを含めた最高の互換性を実現するためには、Pro Tools 2022.12 以降をお勧めします。

Export to Pro Tools ダイアログボックス

Pro Tools セッションにエクスポートするときは、以下の設定をご確認ください。

設定 (共通)	説明
マークを使用	In/Out 間のみを出力します。
選択されたトラックを使用	選択されているトラックのみを出力します。 これにより、「ビデオ ミックスダウン」するときエクスポートに含まれるビデオの量も変わり、「カット」トラックを構築するために使用されるトラックも決定されます。
マスクマージンを有効にする	プロジェクトとは異なるアスペクトレシオを使用するときのプレビューに使用します。
Include All Video Tracks in Sequence (すべてのビデオトラックを含める)	選択すると、[Video Details] タブで選択されたビデオトラックを出力します。 選択しないと、ビデオトラックを出力しません。[Video Details] タブと [Media Destination] オプションは表示されなくなります。
Include Audio Tracks in Sequence (オーディオトラックを含める)	[すべてのトラック]、[最初の 2/4/8/16 トラック] のオプションが選択できます。 選択すると、[Audio Details] タブで選択されたビデオトラックを出力します。選択しないと、ビデオトラックを出力しません。[Audio Details] タブと [Media Destination] オプションは表示されなくなります。
Include Markers in Sequence (マーカーを含める)	[All Markers] をクリックすると、[Markers to Export] ダイアログが開きます。出力したいマーカーを選択してください。

設定 (共通)	説明
	Option+クリック (Mac) または Alt+クリック (Windows) することで、同じカテゴリーのオプションを全選択/解除できます。

設定 (Video Details)	説明
Export Method	[Link to (Don't Export) Media]、[Copy All Media]、[Consolidate Media]、[Video Mixdown]

これらの設定は AAF と同じですが、Video Mixdown のオプションが追加されています。Video Mixdown を選択すると、含まれるすべてのトラックのすべての編集点が追加された「カットトラック」を作成します。選択したトラックのみを出力することで、編集点の数を制限することもできます。

「ミックスダウン」トラックは上位トラックから見たときのすべての映像を一本化し、フレーム精度で Pro Tools に送ります。

Pro Tools ではビデオトラックは一本しか作成できません。

「カットトラック」には映像は含まれず、編集点を参照するために作成されます。一本のオフライントラックにすべての編集点が表示されます。これにより、オーディオエディターが編集点の位置を参照できるようにしています。

ファイルラッパーを選択することもできます。デフォルトでは DNxHD LB コーデックの MOV で、ラスタサイズはプロジェクトフォーマットに関わらず 1920x1080 です。帯域幅が少ないため、特に Pro Tools で複雑なセッションを使用するときは負荷が軽く便利です。

Transcode Video To:
(ビデオトランスコード)

MOV または MXF

MXF を選択すると、以下のコーデックが使用できます：AVC-Intra 100、DVCPro HD、H.264 800Kbps Proxy、HDV 720p、XDCAM EX 35Mbits、1:1, 1:1p 10b、DNxHD HQ、DNxHD HQX

設定 (Video Details)**説明**

Codec Family:
(コーデックファミリー)

DNxHD、DNxHR、Apple ProRes

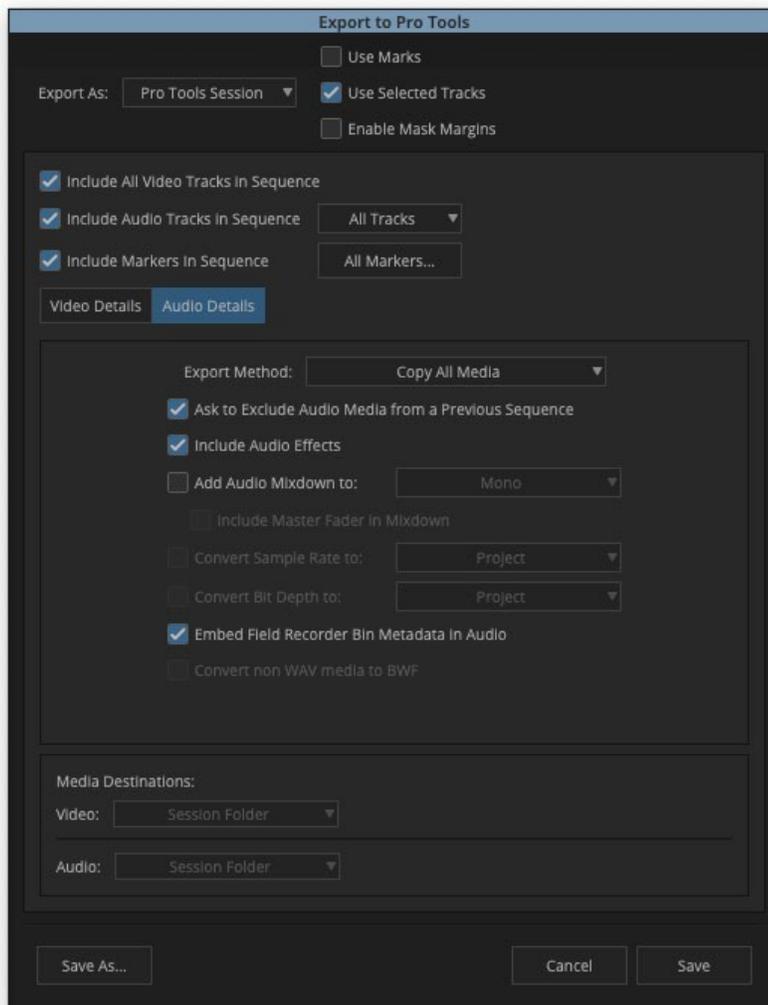
[Transcode Video To] で MOV を選択したときにのみ使用できます。

Compression:
(圧縮)

[Transcode Video To] で MOV を選択したときにのみ使用でき、[Codec Family] で選択された内容により変わります。

Raster:
(ラスター)

[Transcode Video To] で MOV を選択したときにのみ使用でき、[Codec Family] と [Compression] で選択された内容により変わります。



設定 (Audio Details)**説明**

Export Method

[Link to (Don't Export) Media]、[Copy All Media]、[Consolidate Media]

[Copy All Media] を使用すると、リンクメ

設定 (Audio Details)**説明**

	<p>メディアも一緒にコピーされます。リンクメディアはメディアのタイプによって「Audio Files」フォルダーまたは「Video Files」フォルダーにコピーされます。</p> <p>[Link to (Don't Export) Media] では、WAV (OMF) メディアは使用できません。この場合は [Copy All Media] または [Consolidate Media] を使用するか、エクスポートの前にシーケンスをトランスコードしてください。</p>
Handle Length _ フレーム (のりしろの長さ)	<p>In 点より前と Out 点より後に追加する素材のフレーム数</p> <p>[Export Method] を [Consolidate Media] に設定したときにのみ使用できます。デフォルトは 60 フレームです。</p>
Ask to Exclude Audio Media from a Previous Sequence (以前のシーケンスに含まれているオーディオメディアを除外するかを尋ねる)	<p>以前に出力されたメディアをエクスポートファイルから除外したいときに使用します。二重にエクスポートすることを防ぐことで、エクスポート時間やディスク容量を節約します。エクスポートプロセスにおいて自動的に変換された WAV やエンベッドされたフィールドレコーダーのメタデータも対象になります。エクスポートを実行すると、以前のシーケンスを指定するように尋ねられます。</p> <p>[Export Method] を [Copy All Media] に設定したときにのみ使用できます。</p>
Include Audio Effects (オーディオエフェクトを含める)	<p>選択すると、レンダリングされたオーディオエフェクトと 3 種類のオーディオが「Rendered」「Rendered Only」「Unrendered」とラベリングされたフォルダーにコピーされます。選択しないと「Unrendered」フォルダーのみが作成されます。</p> <p>「Rendered」フォルダーにはレンダリングされた (Media Composer で聞こえていたのと同じように Pro Tools で再生されるべき) オーディオメディアが作成されます。このフォルダーはデフォルトでミュートされていません。このフォルダーにはエフェクトが適用されていないミックスクリップ、Audio Suite プラグインと EQ が適用されてレンダリングされたクリップ</p>

プ、トラックエフェクトとその設定、マスターフェーダーにより変更された音量のクリップが含まれます。

「Unrendered」フォルダーには同じシーケンスのエフェクト適用前のオーディオが含まれます。このフォルダーには処理されていないオーディオ、トラックエフェクト適用前のクリップ、マスターフェーダーにより変更されていない音量 (0dB) のクリップが含まれます。

「Rendered Only」フォルダを使用すると、他のクリップが周りにない状態で、影響を受けたオーディオをすばやく見つけて聞くことができ、処理されたオーディオを簡単に分離できます。このフォルダにはレンダリングされた **Audio Suite** プラグインと EQ、トラックエフェクトとその設定、および適切なボリューム調整を備えたマスターフェーダーが含まれます。

エフェクトが適用されたクリップは緑に、エフェクトが適用されていないクリップは青に表示されます。

エフェクトは、**Pro Tools** セッションファイルにエクスポートされる前にメインタイムラインにレンダリングされます。これにより、後で追加のエクスポートのためにオーディオエフェクトを再レンダリングする必要がなくなります。

Add Audio Mixdown to:
(オーディオミックスダウンを追加)

モノラル、ステレオ、5.1、7.1

指定した形にミックスダウンされたオーディオを **Pro Tools** セッションの最上位トラックに追加します。

Include Master Fader in Mixdown
(ミックスダウンにマスターフェーダーを含める)

[Add Audio Mixdown to] を選択したときのみ使用できます。

Convert Sample Rate to:
(サンプルレートを変換)

プロジェクト、44.1kHz、88.2kHz、96kHz から選択します。

Convert Bit Depth to:
(ビットデプスを変換)

プロジェクト、16Bit、24Bit から選択します。

Convert non WAV media to BWF

[Export Method] を [Copy All Media] または

設定 (Audio Details)	説明
(WAV ではないメディアを BWF に変換)	<p>[Consolidate Media] に設定したときのみ使用できます。</p> <p>Pro Tools は MXF OP-Atom、WAV、AIFF メディアにネイティブ対応していますが、WAV に最適化されています。ファイル変換においては、WAV に変換することをお勧めします。</p> <p>このチェックボックスの有無に関わらず、Media Composer はエクスポート時に互換性のないファイルを自動的に WAV に変換します。例えばメディアが圧縮ファイルでビデオインターリーブ、またはサンプルレートが混在しているときは、オーディオは WAV に変換されます。</p>
<p>Embed Field Recorder Bin Metadata in Audio: (フィールドレコーダーメタデータをオーディオにエンベッド)</p>	<p>Media Composer の FPS、Name、Scene、Shoot Date、Sound Roll Rate、SoundRoll、SoundRoll TC、Start、Take、Tape、TapeID、Track Names、UBITS といったフィールドレコーダーのメタデータを Pro Tools に送ります。Pro Tools はこれらの情報をダイアログのマッチングに使用します。</p> <p>これは、独立したトラックがマルチトラックフィールドレコーダーを使用してセットで録音された場合に便利です。これにより、Pro Tools は編集で使用されたオーディオミックスダウンから正しいテイクに戻すことができます。</p> <p>フィールドレコーダーメタデータの編集が検出されると、それらのデータがメディアに埋め込まれた新しいメディアファイルが作成され、Pro Tools セッションはこれらの新しいファイルを使用します。</p> <p>Media Composer は、v 2022.12 より前に取り込まれたファイルのメタデータの編集を検出できません。2022.12 より前に取り込まれたメディアは、新しいメタデータが適用されて再生成されます。このメディアは、[Ask to Exclude Audio Media from a Previous Sequence] オプションを使用することで再作成されなくなります。</p>

Avid MBOX Studio サポート

Windows と Mac で Avid MBOX Studio USB オーディオインターフェースをサポートしました。設定と追加ハードウェアにより、最高 8 チャンネルのオーディオ入出力をサポートし、Mac と Windows でマルチチャンネルサラウンドサウンドの再生を可能にします。最高 4 チャンネルの遅延のないパンチインも可能です。

UNC ドライブのマウント

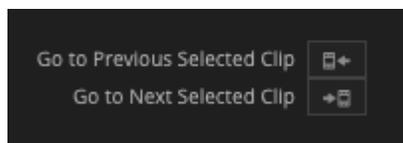


ストレージボリュームをドライブレターでマウントすると、マウントできるストレージ数に上限があり、作業が難しくなることがあります。UNC (Universal Naming Conversion) パスを使用すれば上限はなくなり、サーバーとローカルストレージの見分けもつけやすくなります。以前のバージョンでは NEXIS ワークスペースはドライブレターでのみマウントできました。最新バージョンではメニューに UNC パスが使用でき、Read/Write 権限もそのまま使用できます。

UNC パスは以下のような形式です：*\\server-name\shared-resource-pathname*

前の/次の選択したクリップへ移動

新しい [Go to Previous Selected Clip] と [Go to Next Selected Clip] を使用すると、その選択の内容に従ってタイムライン上を前後に移動できます。クリップが選択されていると、そのクリップの先頭へ移動します。複数のクリップが選択されているときは、選択されているクリップ間を簡単に移動できます。どちらのコマンドもコマンドパレットにあり、キーボードショートカットやツールパレットに割り当てることができます。



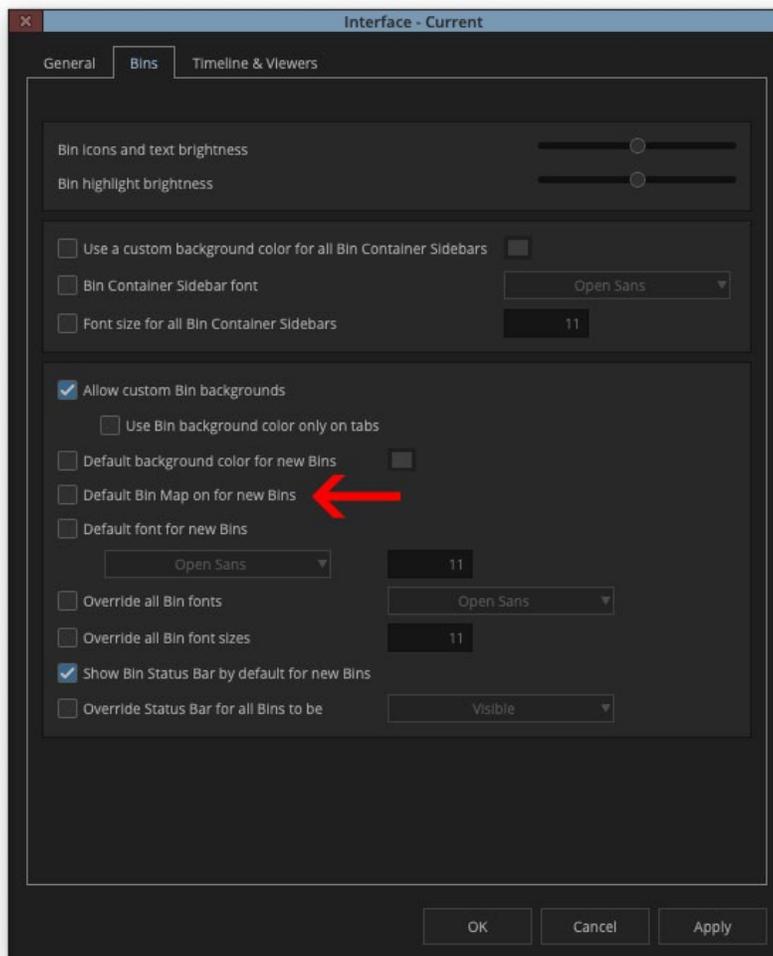
マーカーウインドウに作成日コラムを追加

マーカーウインドウに [作成日] コラムが追加されました。最新の追加されたマーカーを参照したいときや特定の日に変更されたマーカーを確認したいときに便利です。

#	Marker Name	TC	End	Track	Part	Comment	Creation Date
0008	Marker 8	01:03:54:03		V1			11/29/22 11:02:10 AM
0007	Marker 7	01:03:38:03		V1			11/29/22 11:01:57 AM
0006	Marker 6	01:03:28:16		V1			11/29/22 11:01:41 AM
0005	Marker 5	01:03:05:21		V1			11/29/22 11:01:28 AM
0004	Marker 4	01:02:44:28		V1			11/29/22 11:01:08 AM
0003	Marker 3	01:02:28:19		V1			11/29/22 11:00:52 AM
0002	Marker 2	01:02:05:11		V1			11/29/22 11:00:13 AM
0001	Marker 1	01:01:19:19		V1			11/29/22 10:59:54 AM

ビンマップ設定

新しいビンを作成したときに、デフォルトでビンマップを表示することができます。現在のビンの状態はそのまま維持されます。Interface 設定の [ビン] タブで [Default Bin Map on for new Bins] を選択してください。



ビンコンテナ・サイドバーでビンとフォルダーをラッソ選択

ビンコンテナで、ビンアイコンの左側でラッソすることで複数のビンとフォルダーを選択できます。大量のアイテムを選択したいときに便利です。

どのコラムからでもビンのアイテムをドラッグ

どのコラムを選択していても、ドラッグでビンからビンへのアイテムの移動が可能になりました。移動のためにアイテムをクリックしてクリップ名の変更になってしまい、さらにはうっかり内容を変更してしまう危険を防ぐことができます。移動したいアイテムがあったら、どのコラムでも構わないのでアイテムを選択し、そのままドラッグしてください。

ファイルのマルチチャンネルオーディオを無視

マルチチャンネルオーディオが含まれたファイルをリンクすると、Media Composer はデ

フォルトではすべてのチャンネル情報を維持します。Link 設定の [リンクオプションタブ] で [Ignore Multichannel Audio Layout from File] を選択すると、[マルチチャンネルオーディオ] オプションの [Edit...] で設定した内容に変更してリンクできます。

Legal Notices

Product specifications are subject to change without notice and do not represent a commitment on the part of Avid Technology, Inc.

This product is subject to the terms and conditions of a software license agreement provided with the software. The product may only be used in accordance with the license agreement.

This product may be protected by one or more U.S. and non-U.S patents. Details are available at www.avid.com/patents.

This document is protected under copyright law. An authorized licensee of Avid Media Composer may reproduce this publication for the licensee's own use in learning how to use the software. This document may not be reproduced or distributed, in whole or in part, for commercial purposes, such as selling copies of this document or providing support or educational services to others. This document is supplied as a guide for Avid Media Composer. Reasonable care has been taken in preparing the information it contains. However, this document may contain omissions, technical inaccuracies, or typographical errors. Avid Technology, Inc. does not accept responsibility of any kind for customers' losses due to the use of this document. Product specifications are subject to change without notice.

Copyright © 2022 Avid Technology, Inc. and its licensors. All rights reserved.

The following disclaimer is required by Apple Computer, Inc.:

APPLE COMPUTER, INC. MAKES NO WARRANTIES WHATSOEVER, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, REGARDING THIS PRODUCT, INCLUDING WARRANTIES WITH RESPECT TO ITS MERCHANTABILITY OR ITS FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE. THE EXCLUSION OF IMPLIED WARRANTIES IS NOT PERMITTED BY SOME STATES. THE ABOVE EXCLUSION MAY NOT APPLY TO YOU. THIS WARRANTY PROVIDES YOU WITH SPECIFIC LEGAL RIGHTS. THERE MAY BE OTHER RIGHTS THAT YOU MAY HAVE WHICH VARY FROM STATE TO STATE.

The following disclaimer is required by Sam Leffler and Silicon Graphics, Inc. for the use of their TIFF library:

Copyright © 1988–1997 Sam Leffler
Copyright © 1991–1997 Silicon Graphics, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software [i.e., the TIFF library] and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that (i) the above copyright notices and this permission notice appear in all copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or publicity relating to the software without the specific, prior written permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS-IS" AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

The following disclaimer is required by the Independent JPEG Group:

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

This Software may contain components licensed under the following conditions:

Copyright (c) 1989 The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that the above copyright notice and this paragraph are duplicated in all such forms and that any documentation, advertising materials, and other materials related to such distribution and use acknowledge that the software was developed by the University of California, Berkeley. The name of the University may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission. THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

Copyright (C) 1989, 1991 by Jef Poskanzer.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation. This software is provided "as is" without express or implied warranty.

Copyright 1995, Trinity College Computing Center. Written by David Chappell.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation. This software is provided "as is" without express or implied warranty.

Copyright 1996 Daniel Dardailler.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of Daniel Dardailler not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. Daniel Dardailler makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

Modifications Copyright 1999 Matt Koss, under the same license as above.

Copyright (c) 1991 by AT&T.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose without fee is hereby granted, provided that this entire notice is included in all copies of any software which is or includes a copy or modification of this software and in all copies of the supporting documentation for such software.

THIS SOFTWARE IS BEING PROVIDED "AS IS", WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY. IN PARTICULAR, NEITHER THE AUTHOR NOR AT&T MAKES ANY REPRESENTATION OR WARRANTY OF ANY KIND CONCERNING THE MERCHANTABILITY OF THIS SOFTWARE OR ITS FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE.

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

The following disclaimer is required by Paradigm Matrix:

Portions of this software licensed from Paradigm Matrix.

The following disclaimer is required by Ray Sauers Associates, Inc.:

"Install-It" is licensed from Ray Sauers Associates, Inc. End-User is prohibited from taking any action to derive a source code equivalent of "Install-It," including by reverse assembly or reverse compilation, Ray Sauers Associates, Inc. shall in no event be liable for any damages resulting from reseller's failure to perform reseller's obligation; or any damages arising from use or operation of reseller's products or the software; or any other damages, including but not limited to, incidental, direct, indirect, special or consequential Damages including lost profits, or damages resulting from loss of use or inability to use reseller's products or the software for any reason including copyright or patent infringement, or lost data, even if Ray Sauers Associates has been advised, knew or should have known of the possibility of such damages.

The following disclaimer is required by Videomedia, Inc.:

"Videomedia, Inc. makes no warranties whatsoever, either express or implied, regarding this product, including warranties with respect to its merchantability or its fitness for any particular purpose."

"This software contains V-LAN ver. 3.0 Command Protocols which communicate with V-LAN ver. 3.0 products developed by Videomedia, Inc. and V-LAN ver. 3.0 compatible products developed by third parties under license from Videomedia, Inc. Use of this software will allow "frame accurate" editing control of applicable videotape recorder decks, videodisc recorders/players and the like."

The following disclaimer is required by Altura Software, Inc. for the use of its Mac2Win software and Sample Source Code:

©1993–1998 Altura Software, Inc.

The following disclaimer is required by Ultimatte Corporation:

Certain real-time compositing capabilities are provided under a license of such technology from Ultimatte Corporation and are subject to copyright protection.

The following disclaimer is required by 3Prong.com Inc.:

Certain waveform and vector monitoring capabilities are provided under a license from 3Prong.com Inc.

The following disclaimer is required by Interplay Entertainment Corp.:

The "Interplay" name is used with the permission of Interplay Entertainment Corp., which bears no responsibility for Avid products. This product includes portions of the Alloy Look & Feel software from Incors GmbH.

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>).

© DevelopMentor

This product may include the JCifs library, for which the following notice applies:

JCifs © Copyright 2004, The JCIFS Project, is licensed under LGPL (<http://jcifs.samba.org/>). See the LGPL.txt file in the Third Party Software directory on the installation CD.

Avid Interplay contains components licensed from LavanTech. These components may only be used as part of and in connection with Avid Interplay.

Attn. Government User(s). Restricted Rights Legend

U.S. GOVERNMENT RESTRICTED RIGHTS. This Software and its documentation are "commercial computer software" or "commercial computer software documentation." In the event that such Software or documentation is acquired by or on behalf of a unit or agency of the U.S. Government, all rights with respect to this Software and documentation are subject to the terms of the License Agreement, pursuant to FAR §12.212(a) and/or DFARS §227.7202-1(a), as applicable.

Trademarks

Avid, the Avid Logo, Avid Everywhere, Avid DNXHD, Avid DNXHR, Avid NEXIS, AirSpeed, Eleven, EUCON, Interplay, iNEWS, ISIS, Mbox, MediaCentral, Media Composer, NewsCutter, Pro Tools, ProSet and RealSet, Maestro, PlayMaker, Sibelius, Symphony, and all related product names and logos, are registered or unregistered trademarks of Avid Technology, Inc. in the United States and/or other countries. The Interplay name is used with the permission of the Interplay Entertainment Corp. which bears no responsibility for Avid products. All other trademarks are the property of their respective owners. For a full list of Avid trademarks, see: <http://www.avid.com/US/about-avid/legal-notices/trademarks>.

Adobe and Photoshop are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. Apple and Macintosh are trademarks of Apple Computer, Inc., registered in the U.S. and other countries. Windows is either a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries. All other trademarks contained herein are the property of their respective owners.

What's New for Media Composer • Created 12/20/22